

公益社団法人埼玉県理学療法士会
令和2年度 第7回理事会議事録

1. 開催日時：令和2年12月15日（火）19：00～21：15

2. 会 場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 17名 定足数 9名

4. 出席理事数 17名

出席理事：南本浩之、岡持利亘、水田宗達、原田慎一、本宮光信、茄子川知浩、矢野秀典
赤坂清和、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、吉川貴矩、高宮尚之、田澤俊亮
乙戸崇寛、渡邊賢治

欠席理事：田口孝行

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：前園徹、清宮清美

欠席監事：なし

6. 出席部長・エリア長・委員長

塚田陽一

7. 出席部員

佐藤香（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議 題

<計画内審議>

○令和3年度事業計画案について

○令和2年度埼玉県理学療法士会功労賞について

<計画外審議>

○【学術局】研究サークル事業の継続について

<報告事項>

○【事務局】LINEWORKS 審議について

○【財務局】残高試算表・正味財産増減計画書について

<その他事項>

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭、本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し、問題なく進行できることを確認した。また、議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議事項>

○令和3年度事業計画案について

・事務局

水田事務局長より事業計画案に沿って説明があった。

庶務部

- ・名誉会員について規定・会費に関して一部変更、検討をしていく予定。
- ・定年を迎えた会員に関する調査を行う予定。
- ・代表者会議のオンライン化につき、会場費、参加者への旅費・日当等を82万円程減額。
- ・通信費も32万円程減額。

総会運営部

- ・定時総会の運営についてハイブリット形式での開催を予定しているが、運営方法等不明なため業者に依頼する場合、予算の変更が予想される。

厚生部

- ・今年度は飲食を伴う交流が行えないため、新人歓迎会・会員懇親会はweb開催とする関係で予算は昨年度より減額となっている。

その他、令和元年度と大きな変更点はなし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・財務局

本宮財務局長より事業計画案に沿って説明があった。

令和元年度と大きな変更点はなし。

南本：先程の会費減額について、現時点で会員が5000人を超えてきている。会費減額が会員還元の減少になることは事業規模縮小になってしまうので検討いただきたい。他の士会で一番会費が低額な県は8000円、埼玉県は10000円となっている。他県と比較して埼玉県理学療法士会の行っている事業や取り組みをしっかりとPRしていかなければならない。財政基盤検討委員会で検討して頂きたい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・事業局

茄子川事業局長より事業計画案に沿って説明があった。
他団体と共同して県民向け事業を行っているためコロナの影響を大きく受けている。計画作成時はステージ4であったためそれに準じて事業計画を作成した。

高齢者福祉部

生活期リハビリテーション研修会（介護福祉士対象）に関して、開催回数を例年は2回開催していたが、コロナの影響も考慮し1回に変更。場合によってはオンラインでの対応も検討。3団体共催事業である彩の国リハビリテーションフェスタはコロナの影響により開催できない可能性がある。何らかの形で三団体での開催を検討予定。フェスタ開催ではなくなる可能性があり予算減額し対応している。

小児福祉部

療育関係者のための研修会は例年の半分程度である20名以下に規模を縮小し対応。その他の研修会等は開催可能か他団体と相談しながら進める。こどもの福祉機器体験会に関しては準備事業として動いているが、こどもを対象としているため恐らく開催は難しいと考えている。予算は40万円程度減額している。

健康増進部

健康増進部一般公開講座事業は、新型コロナウイルス対策として参加定員を少なくし2回の開催を予定している。介護保険サービス事業所支援事業も同様に参加定員を減らし対応していく。

スポリハ推進部

スポーツ理学療法基礎技術研修会に関して、対策を取ったうえで可能な限り対面式の開催とし、難しい場合はオンラインでの開催に切り替えて実施していく。スポーツサポート活動事業について、次年度は他団体と相談しながら実施を検討していく。

岡持：対象が市民、県民であるため非常に難しい部分がある中で工夫して検討していただいている。先日、事業所に資料を配布するなどの案が上がっていたと思う。状況に応じて方法は変わるだろうが市民・県民のみなさんに対して何か出来ることを提案するのはとても良い事だと思うのでぜひ検討いただきたい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・学術局

矢野学術局長より事業計画案に沿って説明があった。
理学療法編集部は令和元年度と大きな変更点はなし。

研究推進部

高野部長は今年度いっぱい県外異動の予定。研究サークルに関しての来年度の活動については後ほど計画外審議で報告する。

赤坂：学術誌について各都道府県で発行していると思うが、それは役割と目的が達成されているかということに関して伺いたい。また、各文科学会が学術団体に登録する際に学術誌を発行するかしないか選択しなければならないが、それとの整合性も今後は検討するべきではないか。費用対効果として埼玉県理学療法士会として学術誌を持つておくべきなのか、あるいは関東甲信越としてまとめた雑誌などを作るなども可能性として考えていくべきではないか。

矢野：会員の皆様がハードルの高くないペーパーとしての投稿ができるところに設定しているつもりで査読や編集を行っている。編集作業の際は否定的でなくアドバイスを行う様なポリシーで編集作業を行っている。アドバイスなど頂ければありがたい。研究補助金との関連においては現在ほとんどの方が報告書という形で提出をしている様な状況。

赤坂：目的をどの程度達成しているか検討することが重要であると考え。例えば新人の理学療法士が研究活動を推進したいというのであれば著者は5年以下の理学療法士に限るなどが良いのではないか。また、若い方達を対象にするとした場合、提出可能であるラインを『卒後5年未満に限る』や『1度の提出後は3年間出せない』などのルールを作らないと発行の目的と異なる趣旨の論文を多く提出した場合でも業績に繋がり、そのような利用は避けるべきではないかと思われる為検討して頂きたい。

矢野：一度部に持ち帰り検討する。

南本：みなさんで意見を出して進めていただきたい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された

・教育局

赤坂教育局長より事業計画案に沿って説明があった。

認定専門研修部

研修会の回数に大きな変更はない。基本的にはハイブリッド研修の予定。

新人教育部

新人教育プログラムはEラーニングの無料化が実現しているので、新人教育部としての企画としては行わない予定。無料がいつまで続くかわからないが、新卒入会者の検討対策会議、新プロ履修率について埼玉県は低いとの指摘があるため、その対策会議を行う予定。新人教育部および認定専門研修部では、新生涯学習システム移行に向けた体制整備を行う必要がある。協会からの情報により、どのように準備および運用にしていけるか検討する。

臨床実習教育部

昨年度と同様だが、コロナの影響で実際に研修ができたのは2校。今年度は進められるよう検討している。

指定管理者研修部

昨年と同様に管理者ネットワーク研修会を開催していく。

水田：ハイブリットで行う研修会が多いが、ハイブリットで行う場合、機材や通信環境に関して十分対応可能なのか伺いたい。

赤坂：ハイブリットで行っている学会は現在多くなっている。Wi-Fi 環境が整っている方が多い。Wi-Fi 環境がない方への対応は検討中である。Wi-Fi 環境が整わない方やパソコンやタブレットの環境が無い方を 5~10 名程を想定し、ソーシャルディスタンスを保った中で Wi-Fi が使用できる環境を準備する予定。

水田：開催にあたっての準備の段階で工夫が必要であると思う。講師用のマイクや撮影用のカメラの準備などそれなりの機器を事務局管財資料部で機材の準備を検討してもいいかと考えている。開催頻度に合わせて準備するのなどは検討したい。

赤坂：貸し出す機器などがあれば活用したいと考える。

南本：新生涯学習システムについて不明確なことがまだ多く（前期・後期で料金がかかることについてなど）システム構築には苦勞が多いと思う。情報収集しながら進めていただきたい。審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・広報局

三宮広報局長より事業計画案に沿って説明があった。

原田：理学療法週間推進部の企画について SAM さんの協力のもと、県民に発信できる形で配信という部分で、理学療法士主体で行える様な形として再検討して頂きたい。

南本：理学療法士が主体となって行うという理解で良いでしょうか。

三宮：まだ不明確な部分ではある。理学療法士がかかわって発信していく。

赤坂：面白い企画であると思うが 2 点ほど気にあることがある。1 点目は埼玉県理学療法士会のオリジナルなものではあるが、公開するまでのロードマップなどを整備する必要があると思う。全体に公開する前にある程度、協力者を募りサンプルとなっただき、この程度の効果があったというような形にすべきであると思う。何も根拠がなくその運動をやっているというのはよくないと思う。2 点目は個人名が前面に出るのは少し控えるといいと考える。協力もある程度限界があり、契約になると思う。SAM さんをお願いした場合、謝礼や費用などどのようにするかなど、あらかじめ決めておくべきと考えます。

三宮：ご指摘ありがとうございます。考案された運動や体操がどの様な効果があるのかなど実証しなければいけないと考えている。具体的にオリジナルダンスがどの様なものになるのかなど相談、検討していきたい。

岡持：誰を対象とするのかなど明確にした方が良い。体操も流派など沢山出てくるので、誰を対象とするのか、ダンスを 1 から作成するのかなど明確にして進めていただきたい。皆さんの賛同を得た中で動いていただければ良いなと思う。

南本：法人契約になってしまうと思うので、有識者をお願いをして契約した方が良く考えます。また、きちんと契約を行う場合はどうなるのかなど先のことも考えた上で行って頂きたい。

阿久澤：インターネット管理部の YouTube の件について職能団体として有効な発信源だと思う。どの様な動画を作成するのかなどを明確にして、作るのであれば他の部を跨いでしっかりしたものを作成し完成度の高いものを発信していく必要があると考える。部を跨いでプロジェクトチームなどを作っても良いのではないかな。

三宮：公開するにあたって理事会において動画を一度見て頂いて、議論を踏んだ上で判断した方が
良いと考えている。

阿久澤：動画を作るのには労力も時間もかかる。ある程度の作成計画・方針を示すべきだと考
える。その後に動画の撮影などを行っていくべきだと考えます。

南本：理学療法士が誰のために、何のために行うかなどの方針を提示して頂きたい。再検討をお願
いしたい。本件に関しては後日別の機会でご報告をお願いします。

上記議論の件以外においての計画案について審議を行った。

審議の結果、理学療法週間推進部の計画以外について原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・ 職能局

阿久澤職能局長より事業計画案に沿って説明があった。

業務推進部

次年度の部長交代予定。例年通り大きな変更点はなし。ダイハツは今年度行えなかったが来年度開
催に向けて準備中。

その他の部局に大きな変更はない。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・ 東部ブロック

櫻場東部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

各エリア概ね例年通り大きな変更点はなし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・ 西部ブロック

吉川西部ブロック理事長より事業計画案に沿って説明があった。

各エリア研修会、症例検討、交流会を開催予定。

西部ブロック公開講座について

吉川：公開講座にてポスターやチラシなど自由配布をすることは、公開講座での啓発活動という形
での実施は良いのか悩んでいる。

岡持：講師の件に関しては、基本は講師料の規定がある。また、それ以上のことを望むには妥当性
を考えなければならない。理事会審議にて賛同を得た中で行って頂ければ検討して頂けれ
ば良い。

渡邊：例えば一般企業でのビジネスセミナーでは5回のセットセミナーで50万円というセミナー
などがある。講師料では上限があるが、この様な考えも取り入れるのはどうか。

南本：講師料についてはできるだけ事業計画段階で議題を出して頂くとこの場で良い審議ができ
ると思う。

吉川：公開講座について、集客が難しいのでファイルなどを配布して発信する様な方法で市民公開講座という名目で行って良いのかどうか伺いたい。

岡持：方向性は良いと思う。作成するものそれぞれの内容の整合性を考え、すり合わせを行った上で作成すると良い。

吉川：相談、会議を行って検討したいと思います。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・南部ブロック

高宮南部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

各エリア大きな変更はないがオンライン開催になっている。一つ一つの規模は小さくなる予定。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・北部ブロック

田澤北部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

昨年同様の内容で開催予定。可能であればハイブリッドで開催したいが状況を勘案して行う。

水田：研修実施場所について、状況によって判断すると思うが、予算案の中では会場での実施かwebでの開催かどちらで提出しているか。

田澤：Webでの開催で提出している。

水田：会場実施が可能になった場合には会場費などの面で補正予算案になる。

南本：開催人数に応じて開催場所・開催方法の検討を。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・各委員会

ブロック連絡委員会

集合型の会議が行えない為、オンラインでの会議に変更予定。その他は例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

財政基盤委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

表彰委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

組織検討委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

運営基盤検討委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

選挙管理委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第 42 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会

第 40 回関東甲信越ブロック理学療法士学会視察（新潟県）と情報交換予定。視察費に関しては予算の再検討が必要。組織図案を後ほど水田より説明する。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

創立 50 周年記念式典準備委員会

変更点なし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

国際スポーツ競技対策委員会

各研修会はスポーツ理学療法技能試験認定者の 26 名を対象としている。その他変更点なし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

埼玉県理学療法学会評議員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第 30 回埼玉県理学療法学会準備委員会

1 月からは協会のポイント管理システムの関係上ポイント付与ができないため、12 月からオンデマンド配信しポイント付与できるよう検討している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第 31 回埼玉県理学療法学会準備委員会

先日審議承認されたが学会長は医学アカデミーの玄葉先生にお願いした。学会長を引き受けていただく条件として会場を川越周辺にしたいとの事。ご了承願いたい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・専門性委員会

乙戸専門性委員会担当理事より事業計画案に沿って説明があった。

がんリハビリテーション推進委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

糖尿病対策委員会

ネットワークの構築として YouTube などで発信したいと考えている。広報局とも相談して実行していく予定。その他は例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

装具療法地域連携対策委員会

研修会では基礎・実践・フォローアップという形で行っていく。Wi-fi 環境が整わないため、貸し会議室を使用する予定。予算案でも検討していく。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

学校保健・特別支援教育推進委員会

新規に立ち上がった委員会となっている。調査を行い、どのような方法で委員会を発展させていくか検討していく。会員とのネットワーク作りを行っていく。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・職能委員会

渡邊職能委員会担当理事より事業計画案に沿って説明があった。

新分野開拓委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

訪問リハビリテーション振興委員会

例年通りだが、新たな追加事項：訪問リハビリテーション振興員会理学療法士研修会というもの新たに企画している。Basic・Advanceは3団体開催でテーマが広い。理学療法に特化はしていない。在宅部門に特化した研修を検討している

南本：生活期で内部疾患をどの様に捉えていくかが課題となっている。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

災害対策委員会

新たな追加項目として県内での災害リハビリテーション研修会、災害リハビリテーションと地域リハビリテーションの講演会を検討している。

岡持：2番の項目に関して、県も企画する可能性がある為、その場合は県士会が県の事業に予算をもって参加するような立ち位置で企画するように対応してほしい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

職業倫理委員会

今回はハラスメントについて検討していく。

水田：追加事項で4番の職業倫理研修会の開催を予定している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

10年後の理学療法を考える委員会

基盤づくりを行っていく方針方針。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

新型コロナウイルス感染症における在り方検討委員会

岡持：現在看護・介護・リハ職は疲弊している。メンタル相談など事例提示などをして情報共有を行うと良いのではないかと。

阿久澤：メンタル相談などネーミングはどうか。こちらが意図した相談とは関係性の薄い相談が来てしまう可能性があるのでは。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

渡邊：全体を通して web 開催や動画などのコンテンツの内容が多かった。今まで対面の会議や講習が多く、資料など書面での財産しか残らなかったが、今後はこのような状況である為動画という財産が残っていくと考えられる。財産として動画を残していくことはとても良いことだと考えるので、配信するために作成するのではなく、残していけるものが作れると良い。活用方法も検討が必要。

阿久澤：講師料など新たな規定や仕組み作りも必要であると考えます。

南本：私たちの専門外のこと（IT やネット関連）である。委員会を立ち上げるべきか。

渡邊：予算は必要だが短期間でもよいので外部コンサルトをお願いしても良いのでは。

阿久澤：専門家に聞き、行った方がよいと考える。

南本：私達でも判断は正しいのか判断できないことが多い。

水田：来年度は web での研修などが増える。詳しい方は撮影や、動画作成を行えるが、不慣れな方は作成が困難なことが予測される。

○【表彰委員会】令和元年度埼玉県理学療法協会表彰について

資料に基づき水田事務局長より説明があった。

今期は栗原慶太氏、宮田淳子氏、新井武志氏、西尾尚倫氏の4名が表彰対象として推薦された。

来年度の総会にて表彰予定。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

<計画外審議>

○【学術局】研究サークル事業の継続について

矢野学術局長より、資料に基づき説明があった。

南本：とても良い活動だったが、アルケアさんがスポンサーを降りて県土会の独自事業として進めていく事はいいことだと思う。どのような人に対し研究活動を進めていくのか等の内容に関しては再検討が必要な部分がある。対象者や支援対象、指針などをはっきりさせた方が良い。他部局で行っている研修会と同様な考え方で検討しながら進めた方がいいのではない。

矢野：事業計画上どうしたらいいか。

南本：今日すぐには難しいと思うので後日提出してほしい。

矢野：研究推進部のメンバーと一緒に計画をまとめる。

乙戸：研究サークルの位置付けに違和感がある。どの委員会に所属するのか、どういった方針で活動をするのか、予算の程度もわからない。研究助成ではだめなのか。組織図でもどこに所属するのか。方針をはっきりすることは大切ではないか。

矢野：助成金事業はもともとあった。これは研究ができる人を支えていく事業。研究サークルは研究になじみがない人、研究したいがうまくできない人が対象。

南本：若い世代が研究分野から離れてしまう事を防ぎたいので、今後もご意見を。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

<報告事項>

○【事務局】LINEWORKS審議

資料に基づき南本会長より報告があった。

○【財務局】令和2年度予算の執行状況

資料に基づき本宮財務局長より説明があった。

本宮：事業は2月末までに終了すること、会計の報告は3月末までをお願いします。

<その他報告事項>

○第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会運営組織図について

資料に基づき田事務局長より報告があった。

渡邊：学会運営は代行業者に依頼予定か。

水田：その予定。日程は2023年10月13、14日。視察予定の新潟は9月4日、5日。日程調整をお願いしたい。

南本：前日打ち合わせも必要かと考えますので2023年10月12日、13日、14日の3日間を日程調整いただきたい。

<監事より>

清宮：新卒者に対する対応は考えた方が良く考える。

前園：Wi-Fi環境が整っている環境を作った方が良く考える。

以上をもって議案の審議等を終了したので、21時15分、議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印